

VI 給水装置等工事編

第1章 基礎歩掛

第1. 工事歩掛

1. 適用基準

包括工種に含まれる各々の工種について、特段の記載がないものについては、「Ⅱ基礎積算編」の他、「水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）」又は「国土交通省土木工事標準積算基準書」による。

2. 基礎単価

(1) 鉛管継手工

ア. 諸雑費はプラスチック材料等を含む。

イ. 標準数量表

25mm以下

(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
配管工		人	0.13	
諸雑費		式	1	労務費の5%+端数処理
計				

30～50mm

(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
配管工		人	0.17	
諸雑費		式	1	労務費の5%+端数処理
計				

(2) ビニル管継手工

ア. 諸雑費は継手材料を含む

イ. 標準数量表

25mm

(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
硬質塩化ビニル管布設(TS継手工)	25mm	口	1.00	
諸雑費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

40mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	40mm	口	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

50mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	50mm	口	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

75mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	75mm	口	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

(3) 管据付工 (ビニル管)

ア. 継手は1mに1箇所含むものとする。

イ. ビニル管継手工は、本基準 VI-第1. -2. - (2) を適用する。

ウ. 標準数量表

25mm

(1m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (据付工)	25mm	m	1.00	
ビニル管継手工	25mm	箇所	1	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

40mm

(1m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (据付工)	40mm	m	1.00	
ビニル管継手工	40mm	箇所	1	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

50 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(据付工)	50 mm	m	1.00	
ビニル管継手工	50 mm	箇所	1	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

75 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(据付工)	75 mm	m	1.00	明示テープ貼付含む
ビニル管継手工	75 mm	箇所	1	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(4) 管据付工(鋳鉄管)

ア. 標準数量表

75 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鋳鉄管布設工吊込み据付(機械力)	75 mm	m	1.00	明示テープ貼付含む
K 形 継 手 工	75 mm	箇所	0.66	
管切断工(新管)	75 mm、エンジンカッター使用	口	0.09	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

100 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鋳鉄管布設工吊込み据付(機械力)	100 mm	m	1.00	明示テープ貼付含む
K 形 継 手 工	100 mm	箇所	0.66	
管切断工(新管)	100 mm、エンジンカッター使用	口	0.09	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(5) 管連絡工 (ビニル管 40mm～75mm)

ア. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土 木 一 般 世 話 役		人	0.08	
配 管 工		人	0.08	
普 通 作 業 員		人	0.15	
水 替 工 (1)	作業時排水 (発動発電機)、可搬自給式φ50、 全揚程 5 m、1 台	日	0.03	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(6) 割T字管撤去工 (100～400mm)

ア. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.33	
普 通 作 業 員		人	0.17	
諸 雑 費		式	1	労務費の1%+端数処理
計				

(7) 栓止工

ア. 標準数量表

分水栓

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.07	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

サドル付分水栓

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.05	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(8) 止水栓撤去工

ア. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人	0.10	
配 管 工		人	0.10	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(9) 舗装版切断工

ア. 標準数量表

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 版 切 断	A s 舗装版15cm以下	m	0.80	
舗 装 版 切 断	C o 舗装版15cm以下	m	0.20	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(10) 床タイル復元工

ア. 公共住宅建築工事積算基準（国土交通省住宅局住宅総合整備課）に準拠する。

イ. 標準数量表

(1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
床 タ イ ル	100mm×100mm厚物、磁器質相当、無釉	枚	102	【1】
セ メ ン ト	普通	kg	3.0	
細 骨 材	砂・コンクリート用骨材・洗い	m ³	0.004	
タ イ ル 工		人	0.22	【2】
普 通 作 業 員		人	0.09	【3】
床 モ ル タ ル 塗 り	一般タイル下地、木こて37mm	m ²	1.0	
諸 雑 費		式	1	[1]～[3]の16%+端数処理
計				

(11) 管継手工（50mm以下）

ア. 鉛管継手工は、「VI-1 第1.2.（1）鉛管継手工」によるものとする。

イ. ビニル管継手工は、「VI-1 第1.2.（2）ビニル管継手工」によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鉛 管 継 手 工	25mm以下	箇所	0.72	
〃	30～50mm	箇所	0.08	
ビニル管継手工	25mm	箇所	0.18	
〃	40mm	箇所	0.02	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(12) 管継手修繕工

ア. 「V-5 1.（2）ア. 管継手修繕工（土工なし）」によるものとする。

ただし、「ポリエチレンスリーブ取付工」は適用しない。

(13) 取替・管布設工

ア. 標準数量表

75mm

(4m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
管据付工	75mm、ポリエチレンスリーブ取付工含む	m	4.00	
K S形継手工	75mm	箇所	2.00	
諸雑費		式	1	端数処理
計				

150mm

(5m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
管据付工	150mm、ポリエチレンスリーブ取付工含む	m	5.00	
K S形継手工	150mm	箇所	2.00	
諸雑費		式	1	端数処理
計				

200mm

(5m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
管据付工	200mm、ポリエチレンスリーブ取付工含む	m	5.00	
K S形継手工	200mm	箇所	2.00	
諸雑費		式	1	端数処理
計				

300mm

(6m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
管据付工	300mm、ポリエチレンスリーブ取付工含む	m	6.00	
K S形継手工	300mm	箇所	2.00	
諸雑費		式	1	端数処理
計				

(14) 制水弁取替工

ア. 標準数量表

(1箇所当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
鋳鉄製仕切弁設置工	機械・150mm	箇所	1.00	
配管工		人	0.60	
普通作業員		人	1.20	
諸雑費		式	1	端数処理
計				

(15) 制水弁修繕工

ア. 標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.16	
普 通 作 業 員		人	0.80	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

(16) 鉄蓋設置工

ア. 標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
弁 室 類 築 造 工	制水弁室、 $\phi 300$ 以下(浅埋用)、 据付、基礎碎石無	箇所	1.50	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(17) 止水栓上部取替工

ア. 管継手工 (50 mm以下) は、「VI-1 第1. 2. (11) 管継手工 (50mm 以下)」によるものとする。

イ. 標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
管継手工 (50mm以下)		箇所	1.00	
諸 雑 費		式	1	管継手工の10%+端数処理
計				

(18) メータ部のナット締直し工

ア. 標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.03	
諸 雑 費		式	1	労務費の10%+端数処理
計				

(19) ダクタイル鋳鉄管

ア. 標準数量表

ダクタイル鋳鉄管 K形1～2種 75～400 (1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
D1K 直管	75×4	本	1.75	
D1K 直管	100×4	本	1.375	
D1K 直管	150×5	本	0.75	
D1K 直管	200×5	本	0.50	
D1K 直管	250×5	本	0.50	
D1K 直管	300×6	本	0.25	
D1K 直管	350×6	本	0.25	
D2K 直管	400×6	本	0.25	
計				

ダクタイル鋳鉄管 (エポキシ) K形1種 75～300 (1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
D1K 直管	75×4 (エポキシ)	本	2.33	
D1K 直管	100×4 (エポキシ)	本	1.79	
D1K 直管	150×5 (エポキシ)	本	0.99	
D1K 直管	200×5 (エポキシ)	本	0.75	
D1K 直管	250×5 (エポキシ)	本	0.60	
D1K 直管	300×6 (エポキシ)	本	0.39	
計				

ダクタイル鋳鉄異形管 K形 75～400 (1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダクタイルメカ異形管 (K形 I類異形管)	φ75～250	t	0.50	
ダクタイルメカ異形管 (K形 I類異形管)	φ300～450	t	0.50	
計				

第2. 掘削方法の選定

「給水装置改良工事」「給水装置修繕工事」「宅地内給水装置等修繕工事」を除く給水装置工事および給水施設工事における掘削方法の選定については、「Ⅱ基礎積算編」に準じるが、これにより難しい場合は別途考慮する。なお、管布設（撤去）の主たる口径が50mm以下の場合は、原則として、バックホウ山積0.08m³を選定する。